

事業所保存・閲覧用

(評価者の個人名は非公表とされておりますので、保護者様・来訪者様等の閲覧用には、こちらの副本をご使用くださいますようお願いいたします)

平成28年度 東京都福祉サービス第三者評価 評価結果報告書

2017年4月20日

社会福祉法人森友会
なかよしの森保育園

御中

〒 160-0023

所在地 東京都新宿区西新宿6-15-1
セントラルパークタワー ラ・トゥール新宿707

評価機関名 特定非営利活動法人福祉総合評価機構

認証評価機関番号

機構 03 一 081

電話番号 03-6279-0331

代表者氏名 理事長 清水 康之



以下のとおり評価を行いましたので、東京都福祉サービス評価推進機構に報告いたします。

評価者 (評価者養成講習修了者番号及び担当分野)	修了者番号		担当分野			
	①	H1101038	<input checked="" type="checkbox"/> 福祉	<input type="checkbox"/> 経営		
	②	H0702077	<input checked="" type="checkbox"/> 福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 経営		
	③	H0404082	<input type="checkbox"/> 福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 経営		
	④	H0702077	<input checked="" type="checkbox"/> 福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 経営		
	⑤	H0902065	<input checked="" type="checkbox"/> 福祉	<input type="checkbox"/> 経営		
	⑥		<input type="checkbox"/> 福祉	<input type="checkbox"/> 経営		
福祉サービス種別	認可保育所					
評価対象事業所名称	なかよしの森保育園					
事業所連絡先	〒	165-0022				
	所在地	東京都中野区江古田4-16-13				
	TEL	03-5942-8816				
事業所代表者氏名	小手川 義光					
契約日	2016年 10月 1日					
利用者調査票配布日(実施日)	2016年 10月 11日					
利用者調査結果報告日	2016年 12月 6日					
自己評価の調査票配布日	2016年 10月 6日					
自己評価結果報告日	2016年 12月 6日					
訪問調査日	2017年 1月 11日					
評価合議日	2017年 1月 11日					
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	利用者調査実施にあたっては、開始時に調査の趣旨などを記した依頼状の配付やポスター掲示などで理解促進を図るとともに、開始後には提出御礼と未提出者への呼びかけを兼ねたチラシを全対象者に配付するほか、必要に応じ提出期限を延長するなどして回収率向上に努めた。 事業所に対しては開始時の説明や独自資料の提供等により、第三者評価制度や評価項目・標準項目への理解を深めもらうほか、職員層も標準項目単位で評価を行えるようにするなど、自己評価がより的確なものとなるよう配慮した。					

1	理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）
	<p>事業者が大切にしている考え方(事業者の理念・ビジョン・使命など)のうち、特に重要なものの(上位5つ程度)を簡潔に記述 (関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定)</p> <p>1) すべての子どもが、今を幸せに生き、すべての子どもに明日を生きる力を育てる。 2) すべての子どもが、自分の流れで園生活を楽しむ。 3) すべての子どもが、無理なく自立への道を進む。 4) すべての子どもが、協力・協働の喜びを知る。 5) すべての子どもが、自分なりに表現を楽しんで発表する。</p>
2	期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）
	<p>(1)職員に求めている人材像や役割</p> <p>「すべての子どもの最善の利益」をめざすためには、何よりも子ども一人ひとりの存在そのものを愛し、子供の人格を尊重できる人材でなければならない。保育の仕事は一人で行えるものではなく、利用者のみならず、職員間の思いを理解するすることが大切である。相手と協力して仕事をすることに喜びをもち、相手から学ぶことのできる人、相手に思いやりを持てる人を求めている。</p>
	<p>(2)職員に期待すること(職員に持つて欲しい使命感)</p> <p>保育所の職員は、言動、ふるまいのすべてにおいて子どもの手本であることを意識し、日々の保育に当たること。また「子どもの命を預かっている」ことを常に念頭におきつつ、専門知識を学び、現状に満足することなく、保育の質の向上を追求していくこと。明日の社会を担う人間を育てる大事な仕事に自覚と誇りを落ち、利用者とともに成長していくこと。</p>

調査対象

調査開始時点での本園の利用世帯83(在籍児童数99)を対象として実施した。なお、兄弟姉妹がいる世帯は1世帯として扱った。

調査方法

調査票及び調査項目は共通評価項目に準拠した。回収は事業所と協議のうえ郵送または郵送と事業所内での回収との併用にて行い、結果は選択式・自由記述とも園に報告した。自由意見については回答者の匿名性に配慮し、表記の加工などの処理を適宜行った。

利用者総数

83

共通評価項目による調査対象者数

83

共通評価項目による調査の有効回答者数

52

利用者総数に対する回答者割合(%)

62.7

利用者調査全体のコメント

総合的な園に対する満足度は「大変満足」34.6%・「満足」51.9%の計86.5%で、設問別では「食事」「急な残業等への配慮」「整理整頓・清潔」など全16問中9問で80~90%台の高い支持を得ており、「戸外活動」で50%を下回っている。自由意見では「異年齢保育でフロアを広く使えることもよく、延長の時間が長くて夕食があることも助かり、先生方がよい方ばかりで子どもを安心してお願いできる」「異年齢保育でたくさんの友達と遊べ、給食の内容がおいしそうで、その一日一日の活動内容などが写真付きで掲示されて様子を知ることができる」「保育時間の変更に急でも対応してくれ、楽しく通えるよう、イベントや造形などが工夫されている」「先生方の対応がとても素晴らしい、園もとてもきれいで子どもも楽しんでいる」などの声が寄せられている。
さらなる向上を望む意見としては、保育・行事内容、保護者の負担・就労等への配慮、子どもの様子の報告・説明、職員体制に関することなどが見られた。

利用者調査結果

共通評価項目 コメント	実数			
	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
1. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	45	6	1	0
実質的な満足度(「無回答・非該当」を除いた割合・以下同)は、「はい」が86.5%、「どちらともいえない」が11.5%、「いいえ」が1.9%となっている。 自由意見は5件で、「昨年よりメニューに工夫が見られ、いろいろな食材が出ている」のほか、食事やおやつの内容について、さらなる配慮を望む声が寄せられている。				
2. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	23	14	11	4
「はい」が47.9%、「どちらともいえない」が29.2%、「いいえ」が22.9%となっている。 自由意見は13件で、「園庭遊びの機会は十分あると思う」「雨が多く、プール活動が少なかったが、シャワーなどで工夫されていた」などのほか、戸外活動のさらなる充実を望む声が見られる。				
3. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	41	2	0	9
「はい」が95.3%、「どちらともいえない」が4.7%となっている。 自由意見は4件で、「ありがたく安心して利用させてもらっている」「とても助かっている」などのほか、お迎えの遅れに対しての融通性について、さらなる配慮を望む意見があった。				

4. 安全対策が十分取られていると思うか	27	22	2	1
'はい'が52.9%、「どちらともいえない」が43.1%、「いいえ」が3.9%となっている。 自由意見は7件で、保育中の安全管理について、気になる点や要望が挙げられている。				
5. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	44	7	1	0
'はい'が84.6%、「どちらともいえない」が13.5%、「いいえ」が1.9%となっている。 自由意見は3件で、「一年を通して予定を組んでもらえるので調整しやすい」のほか、行事の日程等における各家庭の負担や就労等について、さらなる配慮を望む内容が寄せられている。				
6. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	39	11	1	1
'はい'が76.5%、「どちらともいえない」が21.6%、「いいえ」が2.0%となっている。 自由意見は6件で、「他の園のレベルはわからないが、年々先生の姿勢が向上していると感じる」「信頼関係はある」のほか、日頃の子ども様子などの伝達・報告、コミュニケーション機会の設定などについて、さらなる向上を求める声が見られる。				
7. 職員は保護者の考えを聞く姿勢があるか	40	9	1	2
'はい'が80.0%、「どちらともいえない」が18.0%、「いいえ」が2.0%となっている。 自由意見は8件で、「時間が限られた中でもきちんと対応してくれる」「一部の先生のみある」「とても努力されていて、先生は大変だと思う」などのほか、職員の傾聴姿勢や相談等への対応、日常のコミュニケーション機会の設定について、さらなる配慮を望む内容があった。				
8. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	47	5	0	0
'はい'が90.4%、「どちらともいえない」が9.6%となっている。 自由意見は2件で、「いつもきれいである」のほか、各室の清掃・整理整頓について、さらなる向上を求める声が見られる。				
9. 職員の接遇・態度は適切か	41	8	3	0
'はい'が78.8%、「どちらともいえない」が15.4%、「いいえ」が5.8%となっている。 自由意見は2件で、「基本的に動きやすい服装である」のほか、職員の身だしなみ等について、さらなる配慮を望む声があった。				
10. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	43	6	2	1
'はい'が84.3%、「どちらともいえない」が11.8%、「いいえ」が3.9%となっている。 自由意見は6件で、「必ず連絡をもらえて安心である」「電話での報告から始まり、お迎えまできちんと対応してくれている」「今のところ問題なく、個別状況に応じた対応をしっかりとやってくれた」などのほか、ケガや体調急変等の把握・対応などについて、さらなる向上を求める内容が見られる。				

11. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	27	14	2	9
<p>「はい」が62.8%、「どちらともいえない」が32.6%、「いいえ」が4.7%となっている。 自由意見は5件で、「経験がない」のほか、子ども間のいさかい等の際の保護者への情報提供や子ども一人ひとりへの配慮や目配りなどについて、さらなる検討を望む声があった。</p>				
12. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	41	8	1	2
<p>「はい」が82.0%、「どちらともいえない」が16.0%、「いいえ」が2.0%となっている。 自由意見は5件で、子どもの気持ちを大切にした対応について、さらなる配慮を望む声が寄せられている。</p>				
13. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	34	7	1	10
<p>「はい」が81.0%、「どちらともいえない」が16.7%、「いいえ」が2.4%となっている。 自由意見は2件で、プライバシー保護等へのさらなる配慮を求める内容があった。</p>				
14. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	33	14	4	1
<p>「はい」が64.7%、「どちらともいえない」が27.5%、「いいえ」が7.8%となっている。 自由意見は7件で、「特にカリキュラムがある保育ではないので説明が不要である」「ノートに遊んだ内容が記入されていて助かる」のほか、子どもの様子や保育内容等に関する保護者への報告・伝達などについて、さらなる向上を望む声が見られる。</p>				
15. 利用者の不満や要望は対応されているか	41	5	2	4
<p>「はい」が85.4%、「どちらともいえない」が10.4%、「いいえ」が4.2%となっている。 自由意見は、「要望を伝えると必ず考えてくれ、何日か後に連絡をもらえるので助かる」「主任の先生がとても頼りになり、素晴らしい対応だと感じる」「着替えが行方不明になった時もきちんと対応してもらった」の3件とも肯定的な内容であった。</p>				
16. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	16	8	7	21
<p>「はい」が51.6%、「どちらともいえない」が25.8%、「いいえ」が22.6%となっている。 自由意見は、「まだそこまで困ったことがない」「困って聞いたことがない」の2件であった。</p>				

I 組織マネジメント項目(カテゴリー1～5、7、8)

No.	共通評価項目	
	カテゴリー1	
1	リーダーシップと意思決定	
サブカテゴリー1(1-1)		
事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況
		9 / 9
評価項目1 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している		
評点(○○○○)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど)	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている		
評点(○○)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している		
評点(○○○)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー1の講評		
保育理念や方針をさまざまな媒体で明示し、職員・保護者への周知を図っている		
保育理念「すべての子どもの最善の利益のために」と掲げ、これを踏まえた保育目標や「營める保育」の方針を基軸におき、「入園のしおり」やホームページ等に掲載している。今年度の入園説明会は少人数制とし、理念や保育の方針・基本的な生活習慣などを園長が保護者に対して丁寧に説明し、保育園の概要をより知りながら取り組んでいます。また園便りへの掲載、保護者会での説明などでも折々伝えている。職員に対しては、入職時の研修会で理事長により説明があるほか、保育士の名刺にも理念を記載するなど、理念の浸透に取り組んでいる。		
法人内の先進園としての役割を担い、子ども主体の保育にあたるよう指導している		
園長・副園長の職務・職責は「職員の心得マニュアル」の中の職務分担表に示されており、園長はこれを踏まえ園の運営・管理にあたっている。会議では職員に日常的な保育や行事などさまざまな場面において子どものためになっているかと問い合わせ、理念や方針に沿った判断と対応ができるよう促すとともに、現場での気づいた点等は「營める保育」に立ち戻って考えるよう個別に指導も行っている。また本部との連携を図りつつ、新たな取組を先行的に採り入れるなど、法人における関東地区のパイロット園としての役割も担っている。		
法人・園内での重要案件の検討・決定がなされ、関係者に対して情報が伝えられている		
法人内の重要案件については、毎月の関東地区内の合同園長会や九州各園を含めた園長会において検討・決定がなされており、案件に応じて理事会にて最終決定が行われている。これを各園の職員会議や昼会で周知が図られるほか、園内の案件事項は前述の会議等で検討・決定がなされ、「コミュニケーションノート」も活用して全職員に伝えられている。また同ノートは全職員に対して出勤時に確認を課し、周知漏れを防ぐ仕組みを設けている。保護者に対しては園内での掲示や園・クラス便りのほか、今年度導入した登降園連絡ツールによる情報伝達も行っている。		

カテゴリー2												
2 経営における社会的責任												
サブカテゴリー1(2-1)												
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	4/4									
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している 評点(○○)												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</td> <td>1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</td> <td>2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> </tbody> </table>				評価	標準項目		<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価	標準項目											
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している	<input type="radio"/> 非該当										
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当										
評価項目2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている 評点(○○)												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</td> <td>1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</td> <td>2. 透明性を高めるために、地域の人の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> </tbody> </table>				評価	標準項目		<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 透明性を高めるために、地域の人の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している	<input type="radio"/> 非該当
評価	標準項目											
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当										
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 透明性を高めるために、地域の人の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している	<input type="radio"/> 非該当										

サブカテゴリー2(2-2)														
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	7/7												
評価項目1 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある														
評点(○○)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</td> <td>1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</td> <td>2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> </tbody> </table>			評価	標準項目		<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている	<input type="radio"/> 非該当			
評価	標準項目													
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)	<input type="radio"/> 非該当												
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている	<input type="radio"/> 非該当												
評価項目2 ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している														
評点(○○○)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</td> <td>1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</td> <td>2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</td> <td>3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> </tbody> </table>			評価	標準項目		<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている	<input type="radio"/> 非該当
評価	標準項目													
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している	<input type="radio"/> 非該当												
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)	<input type="radio"/> 非該当												
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている	<input type="radio"/> 非該当												
評価項目3 地域の関係機関との連携を図っている														
評点(○○)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</td> <td>1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</td> <td>2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> </tbody> </table>			評価	標準項目		<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当			
評価	標準項目													
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している	<input type="radio"/> 非該当												
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当												
カテゴリー2の講評														
<p>保育者としての心得・規範等を明示し、会議や研修等にて意識継続を図っている</p> <p>保育者としての心得・倫理・規範等は、園の就業規則の中の服務心得及び、「よき保育者になるために」に明示しており、入社時の研修で、笑顔・積極性、服装・身だしなみ、また環境衛生整備や人権への配慮等を学んでいる。職員会議では法人の方針の「善める保育」とともに、当法人の職員としての品位を保ち、保育にあたるように意識啓発を行っている。また法人内の研修において、保育者としての子どもへの善め方や職員の見守り等の所作などの研鑽を図るほか、先輩職員の姿や系列園の見学などからも保育者としてのるべき姿の学びを深めている。</p> <p>ホームページ等での積極的な情報公開や、一預かり等の受け入れを行っている</p> <p>法人・園のホームページを通じて、園の方針や概要、財務諸表・各種の様式類などが公開されているほか、第三者評価の定期的な受審と結果の公表も行われ、園の透明性の確保に努めている。運動会・夏祭りなどの行事開催時には近隣の公民館や商店等にポスターを貼り、予約制で地域の方の参加者を呼び掛けているほか、一時預かりや短期特例保育の受け入れにて待機児童解消の一助となっている。今年度は見学者への育児相談に対応することにとどまっているものの、来年度の園の専門性や機能還元に向け、内容の検討・準備を進めていく。</p> <p>地域ネットワークに参画し、連携体制の確立や共通課題の検討等を行っている</p> <p>地域の関係機関との連携として、区の園長会や幼保小連絡会に園長が参加し、地域の課題検討や各所との連携などについて話し合いが行われている。また近隣の企業・行政機関等が参加した江古田地区の見守りネットワークでは、地域の情報を収集のうえ、災害時に協働して安全を確保できる体制を整えるべく、検討を重ねている。ボランティア・実習生等の受け入れに関するマニュアルを整備しており、実際に受け入れる際には主任が担当として事前に保育の流れや個人情報の守秘義務等の説明を行っている。</p>														

カテゴリー3														
3 利用者意向や地域・事業環境の把握と活用														
サブカテゴリー1(3-1)														
利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	8/8											
評価項目1 利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む) 評点(○○)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</td> <td>1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えていれる</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</td> <td>2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> </tbody> </table>				評価	標準項目	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えていれる	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当			
評価	標準項目													
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えていれる	<input type="radio"/> 非該当												
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当												
評価項目2 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる 評点(○○○)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</td> <td>1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</td> <td>2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</td> <td>3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> </tbody> </table>				評価	標準項目	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価	標準項目													
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当												
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している	<input type="radio"/> 非該当												
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当												
評価項目3 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している 評点(○○○)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</td> <td>1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</td> <td>2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</td> <td>3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> </tbody> </table>				評価	標準項目	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している	<input type="radio"/> 非該当
評価	標準項目													
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当												
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当												
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している	<input type="radio"/> 非該当												
カテゴリー3の講評														
苦情解決制度の整備と保護者への周知を図り、気兼ねなく受け付ける姿勢を示している 苦情解決制度を整備し、「入園のしおり」やHP等に示すとともに、入園時に保護者へ説明をしている。玄関には意見箱を設置し、第三者委員の受付窓口を含む同制度の仕組みを掲示で知らせるなど、気兼ねなく受け付ける姿勢を示している。また保護者会や日常のコミュニケーションでも意見・要望を聞き取れるようにしており、寄せられた意見には案件に応じて個別に対応したり、全体に関わる内容は園内の掲示等にてフィードバックしている。今年度、戸外遊びに関する意見に対しては、職員間で検討し、人数を分けることで回数が増えるよう工夫している。														
保護者の全体的な意向を把握し、改善に取り組みつつ、結果をフィードバックしている 毎年、秋頃に実施する利用者調査や保護者会前の質問・意見の収集、また親子行事の終了後のアンケート等で全体的な保護者の要望等を把握しており、速やかに組織内で検討し、改善に向けた対応を心がけている。なお、行事アンケートの結果は、前回の意見を踏まえて改善した点の説明や、寄せられた意見を今後に反映させる旨を記して、書面を園内の掲示板に貼って保護者に報告するとともに、ファイリングして自由に閲覧できるようにしている。具体的な改善事例として、子どもの活動に影響がないよう話しかけない約束のもとで、保育見学を可能としている。														
地域内のニーズの収集や保育業界の動向等の把握と活用を行っている 地域の福祉ニーズに関しては区の園長会・幼保小連絡会、地域の虐待対策協議会などの意見交換で把握するほか、年1回、地域の民生委員10数名が集う懇談会や園見学者などからの聴き取りも行っている。保育業界の制度や動向等は、関連の研修会に園長が参加するほか、保育専門誌やインターネット上の情報なども収集するとともに、法改正等の際には本部と連携を図り、マニュアルや規程等を随時改定している。また職員に対しては入社時の研修においては理事長より近年の保育育成制度、業界の動向や今後懸念される経営リスクなどの説明が行われている。														

カテゴリー4																		
4 計画の策定と着実な実行																		
サブカテゴリー1(4-1)																		
実践的な課題・計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	11/11															
評価項目1 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している 評点(○○○)																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</td> <td>1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</td> <td>2. 年度単位の計画を策定している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</td> <td>3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> </tbody> </table>				評価	標準項目		<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 年度単位の計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当			
評価	標準項目																	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当																
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 年度単位の計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当																
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当																
評価項目2 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している 評点(○○○○)																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</td> <td>1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</td> <td>2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</td> <td>3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</td> <td>4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> </tbody> </table>				評価	標準項目		<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	<input type="radio"/> 非該当
評価	標準項目																	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	<input type="radio"/> 非該当																
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	<input type="radio"/> 非該当																
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している	<input type="radio"/> 非該当																
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	<input type="radio"/> 非該当																
評価項目3 着実な計画の実行に取り組んでいる 評点(○○○○)																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</td> <td>1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</td> <td>2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にするなどの取り組みを行っている</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</td> <td>3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを測る指標を明示している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</td> <td>4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> </tbody> </table>				評価	標準項目		<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にするなどの取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価	標準項目																	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している	<input type="radio"/> 非該当																
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にするなどの取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当																
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当																
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当																

サブカテゴリー2(4-2)		
利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	4/4
評価項目1 利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる		
評点(○○○○)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事故、感染症、侵入、災害などの事例や情報を組織として収集し、予防対策を策定している	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事故、感染症、侵入、災害などの発生時でもサービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 事故、感染症、侵入などの被害が発生したときは、要因を分析し、再発防止に取り組んでいる	
カテゴリー4の講評		
法人の中・長期計画をもとに園の事業計画を策定し、年間を通じて取り組んでいる		
法人として社会福祉法人の制度改革への対応、業務全般の質の向上や職員待遇の改善、施設の開設・修繕のための資金確保、園の保育の理念・方針などへの保護者・地域・社会からの理解獲得などの現状の課題を踏まえ、主な取組と目標水準、達成時期を定めた31年度までの5か年の事業計画を策定している。園ではこれに沿った事業計画として「蓄める保育の促進」を掲げ、保育環境・職員育成等の重点項目ごとに経過の報告を受けるほか、保育に関する項目は「コミュニケーションノート」の活用や行事ごとの反省会で進捗を確認しながら取り組んでいる。		
計画から振り返りまでの仕組みを整え、担当を中心として進捗管理にあたっている		
行事・訓練や日常の保育などの月・日単位の各活動では所定の書式に計画が示され、実践と反省から次へと循環する仕組みを整えている。また主要な行事においては保護者アンケートによる意向を把握しており、これを組織内で検討のうえで次の計画内容に反映させるほか、当日までの準備等に関しては担当者を中心として「コミュニケーションノート」や昼礼等を通じた進捗管理を行っている。その他にも法人のスケールメリットを活かし、園長会や各委員会などで系列各園の情報や事例等が周知され、計画作成時や検討内容の参考としている。		
利用者の安全確保に向け、マニュアルの整備と各種の訓練・研鑽などを行っている		
利用者の安全の確保に向け、安全管理マニュアルを整備するほか、定期的な防災・防犯の訓練の実施とともに、感染症・SIDS予防の対策やプール時の安全配慮等の指導も行っている。また受診治療を要したケガ等はアクシデント報告書に記し、要因分析や再発防止策の検討を行うほか、職員会議や「コミュニケーションノート」にて職員間で共有化を図っている。さらに系列園内のケガ等の事例も共有し、自園の安全配慮や予防意識の向上につなげている。区内の感染症週報や不審者情報等を把握した際には園内で書面を掲示し、保護者への注意喚起を行っている。		

カテゴリー5																					
5 職員と組織の能力向上																					
サブカテゴリー1(5-1)																					
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成 に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	5/8																		
評価項目1 事業所にとって必要な人材構成にしている 評点(○○○)																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> </tbody> </table>				評価	標準項目		●あり ○なし	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当						
評価	標準項目																				
●あり ○なし	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している	<input type="radio"/> 非該当																			
●あり ○なし	2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている	<input type="radio"/> 非該当																			
●あり ○なし	3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当																			
評価項目2 職員の質の向上に取り組んでいる 評点(○○●●●)																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td>○あり ●なし</td> <td>2. 事業所の人材育成計画と職員一人ひとりの意向に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td>○あり ●なし</td> <td>3. 個人別の育成(研修)計画は、職員の技術水準、知識、専門資格の習得(取得)などの視点を入れて策定している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td>○あり ●なし</td> <td>4. 職員一人ひとりの個人別の育成(研修)計画に基づいて、必要な支援をしている</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> </tbody> </table>				評価	標準項目		●あり ○なし	1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	<input type="radio"/> 非該当	○あり ●なし	2. 事業所の人材育成計画と職員一人ひとりの意向に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当	○あり ●なし	3. 個人別の育成(研修)計画は、職員の技術水準、知識、専門資格の習得(取得)などの視点を入れて策定している	<input type="radio"/> 非該当	○あり ●なし	4. 職員一人ひとりの個人別の育成(研修)計画に基づいて、必要な支援をしている	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	<input type="radio"/> 非該当
評価	標準項目																				
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	<input type="radio"/> 非該当																			
○あり ●なし	2. 事業所の人材育成計画と職員一人ひとりの意向に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当																			
○あり ●なし	3. 個人別の育成(研修)計画は、職員の技術水準、知識、専門資格の習得(取得)などの視点を入れて策定している	<input type="radio"/> 非該当																			
○あり ●なし	4. 職員一人ひとりの個人別の育成(研修)計画に基づいて、必要な支援をしている	<input type="radio"/> 非該当																			
●あり ○なし	5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	<input type="radio"/> 非該当																			

サブカテゴリー2(5-2)

職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	7/7
------------------------	-------------------	-----

評価項目1

職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる

評点(○○○)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2

職員のやる気向上に取り組んでいる

評点(○○○○)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー5の講評

理念に共感できる人材の確保と園内のバランス等を考慮した配置に努めている

職員の採用においては、法人の理念「すべての子どもの最善の利益のために」や系列全園で実践する「誓める保育」への共感、各園で展開するチーム制の保育実践に順応できる協調性やコミュニケーション力を重視し、常勤職員は書類・筆記及び実技試験・面接による選考を基本に法人または関東統括園長が採否及び配属を決定し、非常勤者は各園での採用をしている。園内の担任等の配置に関しては職員面談で希望を把握し、経験・意欲などを踏まえ、主任とも相談したうえで最終的に園長が決定している。

法人内での分野別の研修や外部研修などで職員の資質向上を図っている

系列園園長を構成員とする「保育の質を向上する委員会」を中心に研修内容を検討のうえ、階層及び保育等の専門の分野別での研修を設定しており、保育・発達支援などの研鑽を図っている。また面談で把握した各職員の現状の課題や望まれる成長、本人の希望も踏まえつつ、内外での研鑽を図り、会議での発表や、報告書の提出と他園見学時の写真の回覧などによって成果の共有を図っている。なお、研修案内は「コミュニケーションノート」に資料を添付してそれぞれの希望を募り、シフトを柔軟に調整することで参加促進を図っている。

表彰制度や成長に応じた評価などの就労環境整備と個人の能力発揮に努めている

理事長表彰制度、経験や年齢によらない柔軟な昇格など、職員の貢献や成長に応じた評価や報酬により、意欲や帰属意識の向上を図っており、今後はキャリアパス制度に沿って、明確な評価制度の導入も検討している。健診等の費用負担の補助、懇親イベントの開催など、福利厚生面の整備にも取り組んでおり、今年度は給与表を改定するほか、国・都の制度を踏まえた処遇改善も継続的に行っていている。また職員の気づき等は保育の環境や活動内容等に柔軟に反映させることでそれぞれの意欲の向上につなげている。

カテゴリーカテゴリー7																		
7 情報の保護・共有	サブカテゴリー1(7-1)																	
	情報の保護・共有に取り組んでいる	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	7/7															
評価項目1 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる 評点(○○○)																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</td> <td>1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</td> <td>2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・保管している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</td> <td>3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> </tbody> </table>				評価	標準項目		<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・保管している	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している	<input type="radio"/> 非該当			
評価	標準項目																	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している	<input type="radio"/> 非該当																
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・保管している	<input type="radio"/> 非該当																
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している	<input type="radio"/> 非該当																
評価項目2 個人情報は、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している 評点(○○○○)																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</td> <td>1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</td> <td>2. 個人情報の保護に関する規定を明示している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</td> <td>3. 開示請求に対する対応方法を明示している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</td> <td>4. 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> </tbody> </table>				評価	標準項目		<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 個人情報の保護に関する規定を明示している	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 開示請求に対する対応方法を明示している	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価	標準項目																	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している	<input type="radio"/> 非該当																
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 個人情報の保護に関する規定を明示している	<input type="radio"/> 非該当																
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 開示請求に対する対応方法を明示している	<input type="radio"/> 非該当																
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当																
カテゴリーカテゴリー7の講評																		
<p>漏洩等の防止を図るための仕組みを設け、各種情報の効率的な利用が行われている 「プライバシー保護マニュアル」を定め、重要書類及びPCデータに関する取扱いや管理の徹底などを促すほか、別途定めた「個人ナンバー管理規定」も踏まえ法令に沿った保管場所・使用の際の記録を厳守している。法人内でもクラウドを活用した情報共有とフォルダ単位でのアクセス権限設定により、職位等に応じた適正な情報利用につなげている。今年度は保護者との連絡や毎日の登降園管理等に活用するシステムを導入しており、日常の連絡や事務処理等における保護者・園双方の負担軽減と効率化に活かしている。</p> <p>個人情報の利用目的に関する説明と同意を受け、開示請求への対応も示している 保護者に対し、「入園のしおり」において個人情報・プライバシーの保護に係る園の取り扱いの指針を示し、個人情報の利用目的として保育提供から各種事務管理までの用途を記載した書面とともに入園時に説明し、利用目的の書面については記名押印を受け、同意確認をしている。また「個人情報管理規程」を定め、この中で法令に定める自己情報の開示請求への対応も定められており、園のホームページにもこれを掲載している。昨今の社会情勢等に鑑み、クラス便りにて保護者が私的に撮影した肖像等の取り扱いに関する注意喚起を行っている。</p> <p>職員・ボランティア等に対し、個人情報保護の徹底を促している 職員には入職時の「よき保育者になるために」「職員の心得マニュアル」に基づく教育を通じ、データ・書類の禁帯出やSNS上の機密漏洩禁止など、個人情報保護の徹底を促すとともに、非常勤を含め全職員から誓約書を取得している。またボランティア・実習生・職業体験などの受け入れに際しても、守秘義務等の説明を行ったうえでこの徹底を促している。</p>																		

カテゴリー8	
8 カテゴリー1～7に関する活動成果	
サブカテゴリー1(8-1)	
前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている	<input checked="" type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている <input type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない <input type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない
<ul style="list-style-type: none"> ・カテゴリー1:「リーダーシップと意思決定」 ・カテゴリー2:「経営における社会的責任」 ・カテゴリー4:「計画の策定と着実な実行」 	
改善の成果	
理念等のさらなる浸透に向けた取組や地域との連携の強化などに取り組んでいる	
<p>「入園のしおり」の改定を図り、制度改変や業界の動向等を踏まえた対応をしているほか、職員の名刺を作成し、法人の理念である「すべての子どもの利益のために」を記すことで、常に理念を意識し、一丸となって保育の向上に取り組む姿勢が向けて取り組む姿勢が持てるようになっている。</p> <p>地域の連携として、近隣の企業・行政関係機関などで構成する地区の見守りネットワークが発足し、災害時の協力体制や地域の高齢者・子どもに対する見守りなどについて話し合う機会が設けられ、地域内の連携が強化されている。</p> <p>なお、法人内の事務作業の効率化に取り組んでおり、今年度の事業計画に盛り込みつつ、次年度以降も含めて計画的に進めている。</p>	
サブカテゴリー2(8-2)	
前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている	<input checked="" type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている <input type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない <input type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない
<ul style="list-style-type: none"> ・カテゴリー5:「職員と組織の能力向上」 	
改善の成果	
組織的な学びの充実と各種の待遇改善など、職員の資質や意欲の向上に努めている	
<p>有識者を招いて分野別に保育の知見を深める法人内研修に加え、提携する法人の支援を得て行う「誓める保育園見学会」や法人内の主任保育士を中心とした「互見会」では、他園の視察と実施後の振り返りによって保育の環境・実践両面の研鑽がなされている。系列園園長を構成員とする「保育の質を向上する委員会」を通じ、安全衛生面の事例や情報の共有と意見交換、法人として共通に目指す保育の徹底の確認など、安全の確保・向上や理念・方針等の浸透と実践に向けた組織的な取組が継続的に実施されている。また園内研修においては、従来全員参加が時間的に難しいものもあったため、午前・午後の2回制として場所を変更するなどの工夫で、ほぼ全員が研修に参加できるようにしている。</p> <p>法人においても給与表の改定や国・自治体の制度を踏まえた賃金改善、希望者を対象とした確定拠出年金制度の導入などのほか、29年度以降の法人借上げ社宅制度の運用開始の準備を進めるなど、待遇面の向上がなされている。</p>	
サブカテゴリー3(8-3)	
前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている	<input checked="" type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている <input type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない <input type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない
<ul style="list-style-type: none"> ・カテゴリー6:「サービス提供のプロセス」 ・カテゴリー7:「情報の保護・共有」 	
改善の成果	
情報の利用・管理や保育面におけるさまざまな工夫や充実を図っている	
<p>マイナンバーの導入にあたり、「個人ナンバー管理規定」に基づいた対応として専用の金庫の購入と、データを使用する際の記録の整備をし、情報の漏洩防止の措置を講じている。また保護者参加の行事においては写真等の撮影を禁止とし、SNS等に掲載する場合の配慮についても理解を求めている。</p> <p>保育面においては保育・管理・安全・環境などの委員会活動が活発に行われており、園庭遊びにおける片付けの方法や子どもへの肯定的な言葉で留意を伝えることの周知を図るとともに、延長用教具の充実などの検討がなされ、現場の改善に反映されている。また保育者会での意見を踏まえ、保育見学(水曜日)で日々の様子をより見やすくなる工夫がなされている。また「外科・内科ノート」の一部改定で対応後の保護者との連携欄が設けられ、軽微なケガや発熱等の体調不良などの保護者への伝え漏れがないよう意識向上につなげている。さらに登降園システムを導入し、災害での連絡と日常的な保護者との情報共有ツールとして活用している。</p>	

サブカテゴリー4(8-4)	
事業所の財政等において向上している	
評価項目1	
財政状態や収支バランスの改善へ向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている	<input checked="" type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている <input type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない <input type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない
改善の成果	
園・法人との連携のもとで収支バランスの最適化に努めている 年間及び月次の予算策定・執行は法人本部との連携のもとで行っており、子どもの安全を第一に考え、予算書の作成時には計画性をもつた経費計上を意識するとともに、定員の基準の範囲内での弾力的な運用、延長・一時保育の積極的な受け入れで収入の増加も図り、年度末の積立も計画的に実行している。また複数園運営の法人のスケールメリットを活かした各種調達の際の価格交渉など、経済性と質の維持の両立に配慮がなされている。	
サブカテゴリー5(8-5)	
前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリーで評価される部分において改善傾向を示している ・カテゴリー3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」	<input checked="" type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている <input type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない <input type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない
改善の成果	
保護者の意見をさまざまに把握し、運営・保育面での改善に役立てている さまざまな機会や窓口を通じて寄せられた保護者の声を活かし、運営や保育・行事の改善に取り組んでいる。 保護者の要望を踏まえ、「子どもには話しかけない」との約束のもと、日々の子どもの主体的な活動を尊重しながらも予約制での保育見学を可能としたほか、散歩の時間が少ないとの意見を受け、時間帯の工夫により年齢別に散歩に行くなど回数を増やしたり、第三者委員を含む外部相談窓口に関する認知度の向上のために入園説明会での丁寧な説明と園内への掲示が行われている。	

II サービス提供のプロセス項目(カテゴリー6-1~3、6-5~6)

No.	共通評価項目	
	サブカテゴリー1	
1	サービス情報の提供	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		
		評点(○○○○)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー1の講評		
パンフレットやホームページで園の特色などを伝えている A4三つ折りのパンフレットに保育理念・目標、園の特色やカリキュラム、年間行事や一日の流れなどを記載し、利用希望者等に配付している。またホームページ(以下、「HP」)も開設しており、クラス・保健・食育の便りの定期的な更新や写真も交えた行事等の情報も掲載するほか、保育理念・保育目標、園が大切している子どもの主体性の尊重・異年齢の関わり・「誓める保育」の説明がなされるとともに、写真を活用した日々の様子を伝えるブログにおいても園の様子をイメージしやすいよう発信している。		
地域の方々に対して、園のさまざまな情報を提供している 中野区のHPには理念・方針、園の特徴のほか、主な散歩コースや園行事などの情報が掲載され、園のHPにもアクセスできるようにリンクがなされている。また夏祭りや運動会などの地域の方も参加できるイベントでは、区の施設やコンビニ前などでポスター掲示のほか、当園のHPへの掲載や園前の掲示板でのチラシの掲示などで参加を呼び掛けている。また各行政等からのお知らせなども必要に応じて園内に掲示し、見学者等の目にふれるようにしている。		
見学の柔軟な対応により、園の目指す保育のあり方等を丁寧に説明している 見学は電話予約を基本として隨時受け入れ、急な問い合わせや土曜日でも柔軟な対応をしている。入園申込時期には見学日を設けて、複数での対応を行っている。当日は園長が基本的には対応してパンフレットを手渡し、園内を一緒に回りながら、クラスの特色や造形活動などの保育活動、縦割り保育での子ども同士の学び合いや誓めることでの自己肯定感の育みを大切にしていること、個々のペースに合わせた食事の提供等、子どもの自主性や自発性を尊重した保育に関して、実際の子どもの活動を見てもらいながら、保護者が理解しやすいよう丁寧に説明している。		

サブカテゴリー2															
2 サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況		6/6												
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている 評点(○○○)															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(●)あり (○)なし</td> <td>1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td>(●)あり (○)なし</td> <td>2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td>(●)あり (○)なし</td> <td>3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> </tbody> </table>				評価	標準項目		(●)あり (○)なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	<input type="radio"/> 非該当	(●)あり (○)なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当	(●)あり (○)なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	<input type="radio"/> 非該当
評価	標準項目														
(●)あり (○)なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	<input type="radio"/> 非該当													
(●)あり (○)なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当													
(●)あり (○)なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	<input type="radio"/> 非該当													
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている 評点(○○○)															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(●)あり (○)なし</td> <td>1. サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td>(●)あり (○)なし</td> <td>2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように支援を行っている</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td>(●)あり (○)なし</td> <td>3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> </tbody> </table>				評価	標準項目		(●)あり (○)なし	1. サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当	(●)あり (○)なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当	(●)あり (○)なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価	標準項目														
(●)あり (○)なし	1. サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当													
(●)あり (○)なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当													
(●)あり (○)なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当													
サブカテゴリー2の講評															
入園決定後の説明会等で利用にあたっての重要な事項を説明している 入園決定後は園長から理念や保育方針、一日の流れや生活などのほか、家庭での規則正しい生活習慣や子どもを養めること、また園との子育てのパートナーシップを持ちながら子どもを見守っていくことなどの基本方針を丁寧に説明し、理解が得られるようにしている。その後、保育士と看護師による個別の面談を行い、「入園のしおり」で登降園などの園のルールやお願い事項を伝え、質問等にも応えるなど、これをもって同意確認をしている。今年度から園長の説明の際には数名のグループで行うことで時間の短縮と子どもや保護者への負担軽減を図っている。 面談で子ども一人ひとりの成育歴や健康状態等を把握し、その後の支援に役立てている 面談では保育士や看護師が説明とともに、保護者が記載した書類をもとに保護者との会話などから、子どもの生活状況、保護者からの要望等も把握している。またアレルギーがある場合は栄養士も同席して、医師の診断書等をもとに個々の状況を詳細に把握できるようにするほか、看護師も同席して園生活での健康面で配慮する事項等を聞き取り、入所後の支援に役立てている。これら把握した情報はフロアごとの話し合いの機会を設け、進級の引き継ぎと新入園児の情報を合わせて情報共有することとしている。 子ども・保護者の環境変化に対する配慮と利用終了後の支援の継続に努めている 子どもの状況や保護者の就労状況に合わせ、「慣らし保育」の日程等を決定し、徐々に保育時間を延ばすようにしている。子どもの特性に応じて、スキンシップを密に行ったり、子どもの好きなものを見つけて遊びに誘いかけるなど、配慮をしている。保護者には登園時の準備等がわかりやすいように可視化したり、説明するなどしたり、お迎えの際には担任から会話をじっくりしたり、主任等もフォローして、より安心できるような配慮に努めている。利用終了後は卒園アルバムを渡す際に就学後の話を聞いたり、その後の行事への招待で関係継続に配慮している。															

サブカテゴリー3																					
3 個別状況に応じた計画策定・記録	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	12／12																			
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している 評点(○○○)																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> </tbody> </table>				評価	標準項目		●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="radio"/> 非該当						
評価	標準項目																				
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="radio"/> 非該当																			
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="radio"/> 非該当																			
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="radio"/> 非該当																			
評価項目2 子どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた指導計画を作成している 評点(○○○○○)																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>1. 計画は、保育課程を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>2. 計画は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>3. 計画を保護者にわかりやすく説明している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>4. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>5. 計画を緊急に変更する場合のしきみを整備している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> </tbody> </table>				評価	標準項目		●あり ○なし	1. 計画は、保育課程を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	2. 計画は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	3. 計画を保護者にわかりやすく説明している	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	4. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直している	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	5. 計画を緊急に変更する場合のしきみを整備している	<input type="radio"/> 非該当
評価	標準項目																				
●あり ○なし	1. 計画は、保育課程を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	<input type="radio"/> 非該当																			
●あり ○なし	2. 計画は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当																			
●あり ○なし	3. 計画を保護者にわかりやすく説明している	<input type="radio"/> 非該当																			
●あり ○なし	4. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直している	<input type="radio"/> 非該当																			
●あり ○なし	5. 計画を緊急に変更する場合のしきみを整備している	<input type="radio"/> 非該当																			

評価項目3
子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している

評点(○○)

評価		標準項目	
●あり	○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
●あり	○なし	2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目4
子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している

評点(○○)

評価		標準項目	
●あり	○なし	1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
●あり	○なし	2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリー3の講評

子どもの情報や各種の記録を個別ファイルで管理し、発達の推移がわかるようにしている

子どもの成長発達の様子は保育日誌や健康観察記録に日々記載されるほか、児童票に0・1歳は毎月、2歳は2ヶ月、3～5歳児は4期の頻度で発達の主な表れや参考となる事項を記すとともに、発達の状況をチェックしている。また保護者との個人面談も実施しており、保護者の要望や子どもの発達課題を記してその後の援助につなげている。その他にも健康の記録は予防接種や健診、既往症などを記録しており、これらの情報を個別ファイルにまとめることで、入園からその後も含め、子どもの発達の推移がわかるようにしている。

保育課程をもとに各種の計画が策定・実行され、保護者にも活動の様子を伝えている

保育理念や目標が示された保育課程をもとに、年齢ごとの年・月・週の計画案を策定している。0歳児は月齢・個人差を考慮して、低・中・高の月齢に分けた週案を作成し、全年齢の個別指導計画を作成して一人ひとりの細やかな配慮と日々の保育への反映を行っている。保護者にはフロア・クラスの便りでカラーの写真入りで子どもの活動や内容、週の活動などがわかりやすいよう工夫している。また保護者の要望は個人面談・連絡帳等で把握し、健康面や子どもの様子を踏まえて計画を柔軟に見直し、会議等で職員間で共有することとしている。

各種の会議やノートを活用し、子どもの状況等を組織内で共有化している

月案作成時は各フロアごとに職員間で話し合った前月の計画の評価と反省を踏まえ、乳児・幼児両フロアのリーダーと主任が全体の反省を行い、次月の予定や計画へと反映させている。週案はフロアごとの複数の担任がクラス内で話し合い、担当者がまとめるほか、月一回の職員会議ではそれぞれの子どもや保護者、クラスの状況を伝えたり、室内の環境構成等の検討も行うなどして、全体で情報共有を図っている。日々の保護者からの連絡事項は、受け入れ時に「引き渡しファイル」に記録し、口頭や各種のノートで組織内での共有化を図っている。

サブカテゴリー5																				
5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 7/7																		
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している																				
評点(○○)																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</td> <td>1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</td> <td>2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> </tbody> </table>			評価	標準項目		<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当									
評価	標準項目																			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当																		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当																		
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している																				
評点(○○○○○)																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</td> <td>1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</td> <td>2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</td> <td>3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</td> <td>4. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし</td> <td>5. 虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関に連絡し、その後も連携できるような体制を整えている</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> </tbody> </table>			評価	標準項目		<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関に連絡し、その後も連携できるような体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
評価	標準項目																			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="radio"/> 非該当																		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当																		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	<input type="radio"/> 非該当																		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	<input type="radio"/> 非該当																		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関に連絡し、その後も連携できるような体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当																		
サブカテゴリー5の講評																				
<p>個人情報の取り扱いや保育場面ごとの子どものプライバシー等に配慮している</p> <p>法人の関係規程に個人情報の第三者提供は原則として保護者の同意のもとで行うことを定めるほか、「入園のしおり」にHPやブログ、写真等など子どもの情報を園内外で使用することについて対応を記載し、個人情報の利用目的とともに入園時に説明と意思確認を行っている。また掛けつの失敗の際には他児に見えない場所で行ったり、トイレには扉付きのものを準備するなど、発達に応じて生じる羞恥心にも配慮できるようにしている。またおむつ替えはトイレ近くのロッカーの裏で行うほか、プール時は屋上的一部にすだれを付けて視野を遮断している。</p> <p>子どもの最善の利益と一人ひとりの尊重を意識しながら、日々の保育にあたっている</p> <p>「全ての子どもの最善の利益のために」を保育理念に掲げ、保育場面におけるNG対応等も明示するとともに、子どもの前の呼び捨て禁止や職員間での言葉遣いなども配慮できるよう適宜指導している。また同じ保育の方針等を展開する園との相互交流を行いながら、保育や行事などの現場実践の観察をもとに、子どもを見守る姿勢や自主性を尊重した職員対応、環境設定等の学び合いの場となるほか、得られた気づきを会議等での報告・検討などを行ったうえで、現場での職員の子どもへの接し方や見守り、主体的な遊びの環境づくりに反映している。</p> <p>虐待の早期発見や発生時の対応に向けた仕組みを整えている</p> <p>虐待対応マニュアルには虐待発見時の対応や通報先を明示するほか、早期発見のポイントや虐待の種類などをまとめている。日々の保育の中では受け入れ時での視診や身体測定などの機会を通じて、子どもや保護者の些細な変化も把握できるようにし、早期発見・予防に努めている。虐待の疑いが生じた場合、子ども家庭支援センターとの連携を図る仕組みを整えている。また園長が地域の関係機関のネットワーク会議に参加し、地域での見守り等の情報共有を図り、必要に応じて会議等で注意喚起できるようにしている。</p>																				

サブカテゴリー6																				
6 事業所業務の標準化	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	11/11																		
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている 評点(○○○)																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> </tbody> </table>			評価	標準項目		●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当						
評価	標準項目																			
●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当																		
●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当																		
●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当																		
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている 評点(○○○)																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> </tbody> </table>			評価	標準項目		●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当						
評価	標準項目																			
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当																		
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/> 非該当																		
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当																		
評価項目3 さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している 評点(○○○○○)																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> </tbody> </table>			評価	標準項目		●あり ○なし	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている	<input type="radio"/> 非該当
評価	標準項目																			
●あり ○なし	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている	<input type="radio"/> 非該当																		
●あり ○なし	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している	<input type="radio"/> 非該当																		
●あり ○なし	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている	<input type="radio"/> 非該当																		
●あり ○なし	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している	<input type="radio"/> 非該当																		
●あり ○なし	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている	<input type="radio"/> 非該当																		
サブカテゴリー6の講評																				
<p>保育や衛生・安全管理における手順や考え方などを示し、実践での徹底を促している 「なかよしの森保育園マニュアル」にはSIDS対応・授乳・調乳・おむつ交換・排せつの自立・衣服の着脱などの日々の保育における手順や考え方を記載するほか、子どもへの人権を踏まえた対応やプライバシー保護のほか、安全・衛生の管理、不審者や事故後の対応など危機管理も含め、園運営全般に渡る内容を取りまとめ、事務所に常備している。これらマニュアルはイラストや写真等も採り入れながら、わかりやすいように工夫するほか、トイレには消毒や清掃の手順を掲示し、日常的な活用を促している。</p> <p>安全な保育提供に向け、事故事例等の共有と意識啓発、各種の訓練などを行っている ケガや事故等が生じた際には内容に応じて所定の書式に発生状況や原因、再発防止などを記録し、職員への供覧にて情報共有を図るほか、法人内の事故事例等を安全レポートとして各園に展開することで意識向上に役立てている。またケガ等の発生状況の統計をもとに図示し、昨年度の状況との比較や発生内容をまとめ、職員への周知と意識啓発を図っている。さらに訓練面では散歩中・朝番や延長の時間帯での災害を想定した避難のほか、不審者対応・防犯の訓練も行うとともに、アレルギー誤食やプール事故等の予防に向けた注意喚起も行われている。</p> <p>園内外の多種多様な研鑽機会を活かし、職員の資質向上に取り組んでいる 法人合同での研修として大学講師による子どもの遊びや発達、保育士の専門性、保護者支援などを継続的に学ぶほか、チーム保育の推進に向けた階層ごとに行うチームビルディングによって職員間のコミュニケーション能力の向上などを図っている。また法人内の職員の専門性を活かした表現活動の研修、外部講師による子どものほめ方・叱り方、自他尊重の伝え方やコミュニケーションのスキルの資質向上も行われている。さらに区の造形や表現活動の実践研修、特別支援・アレルギーの緊急対応・子どもの健康管理など、多種多様な研鑽に取り組んでいる。</p>																				

III サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

サービスの実施項目		サブカテゴリー4	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	36／37
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた援助を行っている		評点(○○○○○)		
		評価 標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし 1. 子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などにより子どもの全体的な姿を把握している				<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし 2. 子どもが主体的に周囲の人やものに働きかけることができるよう、環境構成を工夫している				<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし 3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう援助している				<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし 4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している				<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし 5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている				<input type="radio"/> 非該当
評価項目1の講評				
子どもの発達等に即した教具・教材を揃え、主体的に遊びや生活ができるようにしている 園内では1階の0・1歳児と、2階の2～5歳児の異年齢クラスで保育が行われており、それぞれのクラスに複数名の職員がチーム制によって子どもたちの主体的な活動を見守っている。各室にはさまざまなコーナーを設置し、子どもの手の届くところに年齢や発達、興味に即した教具や教材が随所に置かれており、自分たちで選んで個別・小グループで遊び込めるようになっている。また畳を設置して落ち着いて過ごせるようにしたり、子どもが自由に行き来してそれぞれのペースで遊び・生活ができるような環境構成の配慮が行われている。				
日々の生活や活動を通じて、多文化への興味や異年齢での育ち合いが養われている 日々の生活は異年齢での保育が展開されており、異年齢児が入り混じってそれぞれのコーナーで子どもが興味を持った活動を行っている。年上の子どもの活動する様子を見て、年下の子どもが興味を持って真似をするほか、年下の子どもに教えたりするなど、相互の刺激が得られ、子ども同士での学び合いと人間関係の形成が行われている。また物の名前を英語と日本語のカードで教え合ったり、絵本を用いてさまざまな人種を知らせるほか、メモリーカード等も用いて世界の国旗・文化・習慣の違いを知ることができるようになっている。				
それぞれの子どもの特性を踏まえた見守りと援助に努めている 配慮の必要な子どもに対しては区の専門機関との連携体制を整え、巡回指導による助言を受けて日常の保育での適切な配慮に努めている。また異年齢保育の中でも個々の発達に合わせた関わりにも配慮し、無理なく遊びに参加できたり、落ち着いて過ごせるような見守りと支援を行っている。発達の過程で起こりえる子ども同士のトラブルには、いけないことはいけないと諭したり、保育者が気持ちに寄り添って対応するほか、年齢によっては相手の気持ちに気づけるような声掛けをしたり、子ども同士の関わりを見守りながら自分たちで解決できるようにしている。				

2評価項目2

家庭と保育所の生活の連続性を意識して保育を行っている

評点(○○○○)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	4. お迎え時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2の講評

送迎時に保護者と子どもの状況等を共有し、さまざまに園での活動の様子を発信している

受け入れ時には職員による視診とともに、「変わりありませんか」と声をかけ、保護者から子どもの様子や家庭からの連絡を聴き取っており、保護者からの伝達事項は「受け渡しノート」で記録し、昼会やクラス内での伝達で情報共有をしている。お迎え時にはこれらを踏まえ、保護者に口頭で伝えている。また個々の連絡は年齢別の連絡帳を使用し、0～2歳児は毎日、3歳以上児は所定の頻度で園での様子を記して保護者に知らせるほか、2歳以上児では「一日の様子」の掲示にて写真入りで子どもの活動の様子やその姿を伝えている。

子どもの自発性を大切に、異年齢の育ち合いも活かして生活習慣の自立につなげている

生活習慣の自立に向け、年度当初の保護者会で子どもの発達の目安を伝えるとともに、園での取組も説明するなど園と家庭との連携を図りながら無理なく進めている。0～2歳児は個別の計画を作成し、個々の状態をとらえ、排せつにおいては活動の節目にトイレに誘うほか、着替え時には必要時の援助や言葉かけなどで自分でやってみようとする意欲を尊重しながら取り組めるようにしている。また遊びや生活の中で手首等の発達が自然と獲得できるようにし、食事の際には他児の様子を見て学んだり、配膳や食器の片づけなども自発的に行えるようにしている。

個々の生活リズムや状態に応じ、安心した休息時間の確保に配慮している

午睡は個々の状態を把握するとともに、子どもの生活リズムや体調に応じて時間を調整している。日中の活動量を考慮して食事後、自然な睡眠がとれるように配慮するほか、午睡時は室温・湿度・明るさを調整して静かな雰囲気の中で眠ることができるよう配慮している。また保護者からの要望も踏まえ、家庭での睡眠時間に差し支えないよう時間調節をすることもあるなど、園と家庭との生活の連続性や個々の状況を考慮して対応している。4・5歳児は長時間を園で過ごすことから静的な活動をしたり、子どもの状態に応じて休息の保障も行っている。

3 評価項目3

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

評点(○○○○)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 日常の保育の内容は保育目標を反映して構成されている	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	3. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	4. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるように視点を取り入れている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3の講評

子どもの自主性や自発性を尊重した保育実践が行われている

職員間での検討から園内環境の充実を図り、コーナーごとで発達や興味に応じた教具や教材を用意して子どもが主体的に活動できるよう見守るほか、造形やオペレッタなどの活動などで想像力を膨らませ、自らの思いを表現できるようにしている。また「讃める保育」を推奨し、個別及び子ども同士の主体的な活動から自己肯定感が得られるようにしており、自ら考えて行動できるよう、職員による子どもに共感する言葉かけや援助をしながら異年齢での育ち合いにつなげている。さらに散歩や園庭遊び、栽培活動など身近な事象や自然への興味と関心を育てている。

子どもの意欲や興味のつながり等を大切にしながら主体的な活動ができるようにしている

子どもが自主的に遊び込めるように、コーナーごとにさまざまな教具や素材を揃え、子どもの意思で自由に選び、遊び込めるようにするほか、遊びの継続性に配慮し、制作途中のものはそのまま置いて続きをできるようにしている。また3歳以上児は週2回の講師による表現活動等を取り入れており、絵画活動では道具や素材を用いて描画や制作を行うとともに、日常のコーナー遊びの中でも取り組めるよう環境を設定している。またリズム表現の体験を積み重ね、子どもたちと一緒にオペレッタ劇を完成させて行事で発表するなどつながりのある保育を行われている。

さまざまな体験から自然や季節の移ろいを感じ、子どもの感性を豊かにしている

園の周辺には大型遊具や芝生の広場、自然物が採取できる公園があり、それぞれの目的や季節に応じて散歩に出かけている。季節ごとで虫探しをしたり、木々や実などの自然物を採取して空想をひろげて遊ぶほか、夏には水遊びをしたり、冬には雪に触れて遊ぶなど、四季折々の季節の移ろいや自然を感じられるようにしている。園庭においても樹木等もあり、自然物を用いて見立て遊びが広がっている。さらに青虫を蝶に孵化させるまで飼育したり、屋上の畠で季節の野菜を栽培し、収穫したものを見立てるなど、さまざまな体験ができるようにしている。

4.評価項目4

行事等を通して、日常の保育に変化と潤いを持たせるよう工夫をしている

評点(○○○○)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 子どもが興味を持ち、自ら進んで取り組めるような行事等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	3. 行事等を行うときは、保護者の理解が得られるような工夫をしている	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	4. 保育所の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目4の講評

行事においても子どもが主体的に取り組み、それぞれの達成感や自信へとつなげている

夏祭りでは子どもが飾り付けた神輿を担いで近隣を練り歩き、地域の方々との交流を行うほか、造形の行事では事前に多様な素材を用いて制作に取り組み、お店屋さんごっことして皆で売り買いを楽しんでいる。また発表会においては絵本の中から子どもの発想等を取り入れたオペレッタ劇を歌や踊りを行うほか、子どもたちのアイディアでファッショショーンショーをしたり、フラフープ・けん玉・ダンスなど個々の個性を活かした表現を行うなど、子どもの主体性を尊重しながら日頃の活動や興味を行事へとつなげ、達成感や自信が得られるようにしている。

保護者の理解を得ながら、子どもの成長やその時の姿を感じられるようにしている

保護者参加の行事は年度当初に年間行事予定表を配付して日程調整をしやすいよう配慮している。運動会では野菜の収穫にちなんだネーミングで子どもたちの企画を取り入れ、保護者と協力する競技でともに楽しみながら成長を感じられるよう工夫している。また各行事においてはフロア及びクラスの便りで事前にプログラムや見どころなどを保護者に知らせ、親子で期待感を持って参加したり、見ることができるようにしている。なお、希望する保護者には食事を試食する機会も設けるなど、食に関する理解も深められるようにしている。

地域とのさまざまな関わりの中で、子どもたちの社会性や情操が育まれている

散歩時には道行く方々との挨拶や会話を交わすとともに、夏祭りや運動会では地域の方々も招待して園児と一緒に楽しめるようにしている。また近隣の高齢者施設の行事に参加したり、療育センターの児童と一緒に触れ合い遊びやダンス・歌を見せ合うほか、障がい者施設の方とも影絵の劇を鑑賞したり、体験学習の中学生と一緒に遊んでもらう機会も設けている。さらに系列園と相互に行き来して一緒に遊びや食事を楽しんだり、ドッヂボール大会やお泊り保育などのイベントで懇親を深めるなど、さまざまな人との関わりから社会性や情操が育まれている。

5評価項目5

保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている

評点(○○○○)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが、くつろげる環境になるよう配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 年齢の違う子どもとも楽しく遊べるような配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	3. 子どもの様子を確実な方法により職員間で引き継いでいる	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	4. お迎え時には、子どもの日中の様子(担任からの引き継ぎ事項等を含む)を保護者に直接伝えている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目5の講評

長時間の園生活を考慮し、子どもたちが落ち着いて遊べる場所を工夫している

室内には観葉植物を置いたり、木材を用いた棚や教材などで温かみのある落ち着けるような雰囲気づくりに配慮している。0・1歳児室は畳・カーペットを敷いて子どもたちが横になってくつろげる場所を設けたり、棚等を活用して個別・小集団で過ごせる空間づくりをするなど、さまざまに工夫している。また調理室の前にある「親子ルーム」では絵本コーナーを設け、自分の好きな絵本を選んで集中して見たり、屋上の芝生や園庭で身体を動かして遊べるようにするなど、長時間の園生活において「静」と「動」の活動の保障も行っている。

夕方の時間帯においても異年齢での関わりや個々の安心感が持てるようにしている

気候の良い時には夕方の時間帯においても園庭で身体を動かし、気分転換ができるようにしている。また延長保育時間では0・1歳児室で補食と夕食の提供をしてゆったりと食事ができるようにするほか、活動においては子どもの発達や興味の違いも考慮して少し上の年齢の子どもの教具等も持ち込めるようにして、それぞれが自由な場所で遊び、異年齢での自然な関わりも生じている。また乳児・幼児の担当者を配置し、日中の疲れから夕寝をする子や不安感で泣く子などにスキンシップを図りながら個別に関わるなど安心して過ごせるよう配慮している。

日中の子どもの様子を職員間で引き継ぎ、漏れのないような保護者への伝達に努めている

子どもの様子や健康状態、保護者からの伝達事項などの情報は、「フロアノート」「コミュニケーションノート」「受け渡しノート」などの各種の伝達ツールを用いて共有している。また日中の子どもの様子や保護者への伝達事項は「受け渡しノート」に記し、口頭も含めて夕方の担当への引継ぎを行い、保護者に伝達漏れのないようにしている。また2歳以上児では「一日の様子」にて写真とコメントによって日々の子どもの活動の様子やその姿などを伝えるとともに、お迎え時の親子での会話にもつながっている。

6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(○○○○○)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	
●あり ○なし	5. 保育所の食育に関する取り組みを、保護者に対して伝える活動をしている	
評価項目6の講評		
<p>食事の工夫を凝らし、自分で量や時間を決めて個々のペースで食べられるようにしている</p> <p>子どもたちが食事を楽しく食べることを基本に、お腹の空いた子どもから食べられるよう一定時間を確保して準備するとともに、子どもがその日の体調や気持ちなどに応じて量を決められるよう保育士が個別に聞いて盛り付け、食器等を配膳してそれぞれのペースで食べられるようにしている。誕生会にはからあげやハンバーグなど子どもの好きなメニューを探り入れたり、おやつは手作りのケーキを提供するほか、行事の際には由来にちなんだメニューや盛り付けの工夫を施すなど食への関心を深めている。</p> <p>食物アレルギーや離乳食などの個別の特性に応じた配慮を行っている</p> <p>入園時の面接時には食物アレルギーの有無を確認し、保護者との面談での聞き取りや医師からの「アレルギー生活管理指導書」をもとに除去・代替食を提出している。献立においてはアレルゲン抜きにしたり、配膳の際にはトレイに名札を付け、「食物アレルギー確認表」をもとに複数名でのチェックを経てから提供するなど事故予防に努めている。また離乳食の場合には園で使用する食材を保護者に確認してもらい、初めての食材は家庭で試してから使用するなど段階的に進めるほか、子どもの体調が悪い時には可能な範囲での配慮もしている。</p> <p>栽培・調理などの活動を通じて、子どもの食への関心や食べる意欲を育てている</p> <p>屋上の畠ではサツマイモの苗うえをしたり、夏野菜の種まきをするほか、水やりや草取りなどの世話をしながら生長を観察し、その後の収穫も行われるなど、実体験を通じて子どもたちが野菜を食べる意欲を高め、食べ物の大切さを感じられるようにしている。またきゅうり・トマトなす・ピーマンなどの収穫したものを味見したり、調理活動に活かして野菜洗いや器具を使った皮むきなどに取り組み、皆で作ったものを食べるなど、一連の体験から食への関心を高めている。保護者には毎月の食育便りで旬の野菜やレシピ、食育にちなんだ絵本の紹介をしている。</p>		

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう支援を行っている		評点(○○○)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. けがや病気を防止するため、日頃から身の回りの危険について子どもに伝えている	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに対し、専門機関等との連携に基づく支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	3. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目7の講評		
<p>日々の生活の中で危険回避の意識や衛生的な習慣が身につくようにしている</p> <p>看護師から年齢に応じて手洗い指導等も行われるほか、歯科衛生士による歯磨き指導、警察による交通安全指導などから、口腔内の衛生管理や交通マナーを知る機会となっている。また子どもの危険回避への意識付けとして、散歩に出かけて年上の子どもが年下の子どもの手をつないで歩いたり、白線の内側を歩くほか、園庭で遊ぶ前の固定遊具でのルールなどをそのつど職員が伝えている。また室内では走り回らないように机や観葉植物などで子どもの動線を踏まえて環境を工夫し、職員からの事前の声掛けもしながら、生活や体験の中でもうかるようにしている。</p> <p>日々の子どもの健康管理に努め、万が一の対応に備えている</p> <p>保護者との受け入れ時に家庭での子どもの健康状態を把握している。看護師が午前中に各クラスを回り、出席状況や体調などを把握し、保健日誌に記載するほか、必要に応じて経過観察を行っている。また嘱託医の検診は0歳児は月2回、1歳以上児は年3回あり、定期的な訪問の中で相談がたり、地域の感染症情報等を伝えてもらしながら園内のケアに活かせるようにしている。職員に対しては手洗い等の励行を促したり、会議等で保健面の注意喚起をするほか、嘔吐処理や熱性けいれんの対応なども学び合い、万が一の対応に備えている。</p> <p>感染症やSIDSの発生予防に向け、保健に関する情報を保護者へ提供している</p> <p>入園時には看護師からSIDS予防の留意点や園での取組を保護者に伝えるほか、園内でもタイマーを使ってチェックするとともに、防犯カメラに示すなどしてSIDS発生予防の徹底と職員の意識継続を図っている。感染症が発生した時にはHPでの掲載や玄関での掲示によって、当該発生人数やその状況、予防の留意点などをすみやかに伝えて園内の蔓延防止に努めるほか、日常的にも0・1歳児の部屋の入口に、感染しやすい時期や潜伏期間、登園の目安などを記した子どもがかかりやすい感染症の一覧を掲示し、保護者への情報提供に役立てている。</p>		

8評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(○○○○○)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して接している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	4. 保育所の保育に関して、保護者の考え方や提案を聞く機会を設け反映させている	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	5. 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目8の講評		
<p>保護者の要望等の把握と対応、就労等の個別事情への配慮に努めている</p> <p>保護者からの要望等は連絡帳や送迎時の対応などで把握するほか、個人面談でも園と家庭での生活状況を伝えあうとともに、個別の要望等も把握できるようにしている。また直接言いにくい意見に関しては「ご意見箱」を設置したり、第三者委員への連絡先も掲示し、さまざまな意見を受け付ける仕組みを整えている。また就労等への配慮として残業等による急な延長保育利用や土曜保育に柔軟に対応するほか、保護者参加行事は極力抑えつつ、日程調整しやすいように年間の行事予定を年度当初に配付している。</p> <p>行事を通じて子どもの姿を確認し合い、保護者同士の交流促進も図っている</p> <p>保護者と園とのパートナーシップのもとで子どもの育ちを支えていくよう、昨年度から登録制であった「サポータークラブ」を希望制に変えてより参加しやすいよう工夫し、夏祭りや運動会などの行事における手伝いを協力してもらえるようにしている。また夏祭りや運動会、発表会の際には子どものその時のままの姿を見てもらうことで日頃の生活の積み重ねを保護者と確認し合うとともに、事前の準備や当日において保護者同士の交流にもつながっている。</p> <p>さまざまな機会を通じて、子どもの発達や保育に関する理解を深めている</p> <p>保護者会では子どもの発達状況や年齢に応じた活動などビデオを使用して保護者に伝えている。また保護者を対象とした「ふれあい保育」を開催し、今年は外部講師を招き、子どもへの養め方や叱り方、造形遊びでの子どもの育ちなど、保育についての理解や関心への深化や子どもの発達等についての共通認識を図るとともに、その後の時間帯で実際に子どもの様子を見てもらう機会ともなっている。さらにその月に生まれた誕生児の保護者は、その月の誕生会に参加できるようにしている。</p>		

9 評価項目9

地域のニーズに即した子育て支援を実施している

評点(○○●)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域における在宅子育て家庭のニーズに応じた子育て支援事業を実施している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 地域における在宅子育て家庭同士が交流できるような支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
○あり ●なし	3. 提供している子育て支援事業の評価・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目9の講評

可能な範囲での子育て支援が行われ、今後の事業拡充を検討している

見学時での育児相談にも応じるほか、夏祭り・運動会等の園行事への参加を呼び掛けており、参加した地域の子育て世帯の親子が交流できる機会ともなっている。また地域におけるニーズへの対応として、一時預かりを1日3名の枠で、緊急保育の1名の受け入れを行うなど、待機児童の解消の一助としている。次年度以降は主任を中心とした子育て支援事業の実施と、定期的な「親子ルーム」の開放なども検討しているため、今後の取組に期待したい。

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル①	安心して遊べる環境があり、発達や年齢を超えた相互の育ち合いにつなげている	
内容①	<p>日々の保育の中で年齢を超えた子ども同士の関わりが深まるとともに、自分の意思で遊びや生活の選択ができるようになっている。各所のコーナーにおいて多種類の教材・教具が設置され、自分の興味のある遊びを見つけ、集中して遊べるほか、幅広い異年齢の子どもの関わりから年齢でなく、発達や興味に応じた集団が形成され、無理なく遊べたり、落ち着いて過ごせるようになっている。これらは職員が個々の状況をとらえつつ、見守りながらも必要時の関わりや誘いかけなどを行なながら、子ども同士の相互の育ち合いが自然と育まれるようにしている。</p>	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-6-2	サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている
タイトル②	職員や保護者の意見を踏まえ、さまざまな改善や工夫に取り組んでいる	
内容②	<p>各委員会の活動が活発に行われており、園庭遊びにおける片付けの方法や子どもへの肯定的な言葉で留意を伝えることに関して周知を図るとともに、延長用教具の充実などの検討がなされ、現場の改善に反映されている。また保育者会での意見を踏まえ、保育見学で日々の様子をより見やすくしつつ、親子でのゆったりと特別な日を過ごせるよう配慮をしている。また「外科・内科ノート」の一部改定で対応後の保護者との連携欄が設けられ、軽微なケガや発熱等の体調不良などの保護者への伝え漏れがないよう意識向上につなげている。</p>	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-6-3	さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している
タイトル③	国内外でのさまざまな研鑽機会を設け、職員の資質向上に努めている	
内容③	<p>会議を通じたリーダー層からの指導やOJT形式での方針等に基づいた保育実践の徹底の促しが行われるほか、互見会での内外の気づきの共有と職員の資質向上を図っている。また法人合同での研修として大学講師による子どもの遊びや発達、保護者支援などを継続的に学ぶほか、チームビルディングにおける職員間のコミュニケーション能力の向上、子どもの養め方・叱り方、自他尊重の伝え方やコミュニケーションのスキルの資質向上も行われている。さらに区の保育技術・発達支援・保健や安全面での対応など、多種多様な研鑽に取り組んでいる。</p>	

No. 特に良いと思う点	
1	タイトル 子どもの自主性を尊重し、一人ひとりの遊び込める時間や空間を設定し、子ども同士の関わりの中で育ち合いを深めている
	内容 園内の環境として、0・1歳児及び2～5歳児の2つのフロアに分け、日頃から異年齢での保育が行われている。各フロアは年齢に応じたパズル・ブロックなどの教具・教材のほか、制作や描画の素材、絵本や楽器などをコーナーごとに取り揃え、子どもが自分のペースに合わせ、好きな活動に集中して取り組めるようにしている。また同じ遊びをする中で他児の活動や生活習慣などの行動を見て、自然と意欲が高められ、真似をして自身も習得ができるようになるほか、年下の子どもの手伝いをしたり、教える経験などから相手をいたわる気持ちも培われている。
2	タイトル 子どものペースや意思決定を大切にしながら食事ができる環境を整え、食育活動等も行いながら食べる意欲を高めている
	内容 食事は登園や家庭の朝食での時間等を考慮して、お腹が空いた子どもから食べられるようにしている。一人歩きができるようになった子どもから自分でテーブルに食器を運んでいき、配膳・準備の際には子ども一人ひとりに声かけをしながら、それぞれの体調や意思を確認して食べられる量を盛り付けるなど、個々の状況に応じた対応と子どもの食べる意欲や気持ちに沿ったコミュニケーションを大切にしている。また野菜の栽培から収穫、味見や調理を体験するなど、食を身近に感じながら、食べる意欲も高められている。
3	タイトル 保護者とのパートナーシップによって子どもの育ちを支えるべく、保護者への情報発信や理解共有の工夫が行われている
	内容 園便りの園長コラム、年齢ごとの活動や子どもの姿を伝えるクラス便り、異年齢の子どもたちの姿を発信する「フロア便り」に加え、乳児は連絡帳、幼児は写真を活用した一日の活動の様子の掲示などをを行うほか、園ブログでの日常の活動や行事などの発信、HPでの各種の情報公開がなされている。また保護者有志による行事の手伝いがあるほか、「ふれあい保育」での保育や子育てに関する講話など、保護者とのパートナーシップを深める工夫を行い、ともに子育てをしていく姿勢を示している。
No. さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル 現在、検討を進めている地域への子育て支援事業の拡充などが待たれる
	内容 地域の子育て支援として、見学者が来園した時には希望者に対する育児相談の対応をしたり、地域の方が参加できる行事の開放を行っているほか、一時預かりや短期特例保育の受け入れによって、地域の待機児童解消の一翼も担っている。一方で園の体制上、保育事業者としての専門性の還元には至っておらず、来年度以降の各種の講座や定期的な行事の招待など、さらなる拡充に向けた検討が行われているところであり、今後の計画・実行が待たれる。
2	タイトル 計画目標の達成に向けた進捗管理・指標の明示等も検討されたい
	内容 社会情勢や法改正を踏まえた31年度までの5か年の法人の中・長期計画では主な取組と目標水準、達成時期を定めている。園ではこれをもとに今年度の事業計画として「誓める保育の促進」を掲げ、項目ごとの重点目標の達成に向け、年間を通じて取り組んでいる。ただ、中・長期的な視点から単年度の計画をより着実な実行につなげるという観点から、具体的な活動内容と進捗・達成確認の目安となる目標などの明示においては改善の余地があるため、今後の職員間での計画の共有と、組織的な実行を行う体制づくりなどの工夫も含め検討されたい。
3	タイトル 法人内のさまざまな研修計画と連動した個人別育成計画の策定が待たれる
	内容 法人内では、階層別に求められる内容や専門的な技術向上などを目的としたさまざまな研修を設けており、年間を通じて学びを深めるとともに、定期的な面談により個人の目標・課題の抽出を図っている。これらの一連の流れと実績を可視化し、継続的に管理する体制として、「職員の“発達の連続性”を踏まえた人材育成」を行うための計画の策定、その指標となりうる経験や職位・職種に応じた能力・技術の基準などの策定が今後の課題と思われる。

